

【導入パート】

両耳、通常距離

(インターホンを鳴らし、主人公が出てきたので丁寧な挨拶)

お初にお目にかかります。

本日、もも様よりお部屋掃除のお手伝いを仰せつかりました、林あろまと申します。

(メイド服に突っ込まれ説明)

はい、私の家は代々掃除婦の家系でして、この服装はお仕事着に当たります。

メイド？ はい、そのような呼び方をされる方もいらっしゃいます。

はい、お見知りおきください。

失礼ですが、もも様のお兄様でいらっしゃいますか？ もも様は御在宅でしょうか？

(一体何故…だけ小声で)

はい…なんと…コンビニに…一体何故…お戻りまでもうしばらくかかると…

いえ、問題ございません。私、掃除用具は一式持参しておりますので、
もも様がおられどともお掃除は可能です。

もも様には恐縮ですが、先に取り掛からせて頂いてもよろしいでしょうか？

(主人公が手伝うと言い出し、少し遠慮がちに)

そんな、お兄様のお手を煩わせるわけには、私のお仕事ですので私一人で…わかりました…
はいよろしくお願ひ致します。

(ももの部屋に入り、少しの沈黙の後納得した様子で)

…成程…なかなかの散らかり具合…お任せください。

(掃除が終わって一息つく、主人公に感心される)

お兄様、お疲れ様でした。いえ、私の手際などまだまだです。

母はもっと上手く掃除します。ふき取る時埃が宙に舞いませんから…

…もも様、お戻りになられませんでしたね……

(独り言で少し悔しそうに)

…物足りない…

いえ、何でも…はっ、そうだお兄様…お兄様のお部屋も、
よろしければお掃除させて頂けませんか？

これも何かの縁、せつかくですので…え？ 昨日掃除したばかり…？

②両耳、通常距離

(初めて笑う、嘲笑)

フフ、いえ失礼…殿方のお部屋掃除、きっとやり残しが多いだろうと思って…つい。

私が徹底的にお掃除して差し上げます。ええ、お任せください。

(主人公の部屋へ、思いのほか綺麗でしょんぼり)

失礼いたします。

あ…綺麗。 はい…思いのほか、とてもお掃除の行き届いたお部屋です。

お兄様、出過ぎた真似をして申し訳ございませんでした。

はい、大人しくもも様のお戻りをお待ちします。

(一瞬素で独り言)

はあ…もっと掃除したかったな…

(主人公がお茶を取りに立ち上がる。何かに気づき、取り乱す)

え、お茶ですか？ いえ、お気遣いなく…

……っ！ お兄様、お待ちください！ もしや…ちょっとお耳を拝借しても？

右耳、近距離

(主人公の腕を引き、耳を覗き込む)

しっ、お静かに…動かないでください…じ～…

(口調は丁寧だが嬉しさが隠せない)

…これは…！ フフッ、見つけた♡ お掃除のし忘れ、耳垢がこんなに♡

お兄様ったら…詰めが甘いですよ？ こんな所のお掃除を怠るなんて…

両耳、通常距離

では、致しましょうお兄様、もちろん…お耳掃除ですよ？

お兄様のベッドへ失礼して…

さ、こちらへどうぞ…耳掃除の道具も一式取り揃えておりますので。

はい、もちろん私の膝枕で致します。

お耳掃除は膝枕でするものだと、母からきつく教わりましたので。

もも様がお戻りになられるまでに済ませますので…さ、どうぞ♡